



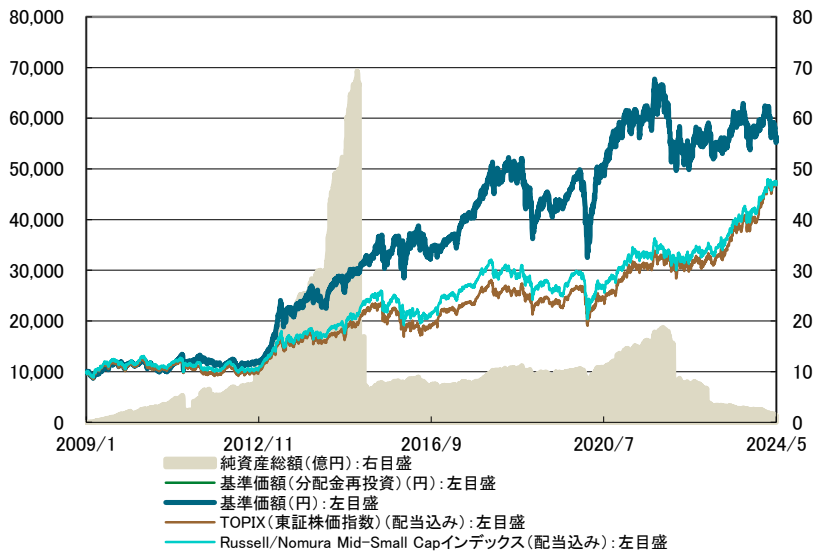
# 中小型株式オープン(SMA専用)

追加型投信/国内/株式

当初設定日 : 2009年1月14日

作成基準日 : 2024年5月31日

## 基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)、Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み)は参考指数です。当初設定日を10,000として指数化しています。

## 基準価額、純資産総額

|       | 当月末      | 前月末比      |
|-------|----------|-----------|
| 基準価額  | 56,418 円 | - 2,084 円 |
| 純資産総額 | 1.27 億円  | - 0.40 億円 |

## 期間別騰落率

|     | ファンド    | TOPIX(東証株価指数)(配当込み) | Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み) |
|-----|---------|---------------------|--|
| 1か月 | -3.56%  | 1.16%               | 0.46%                                    |
| 3か月 | -9.60%  | 4.68%               | 4.10%                                    |
| 6か月 | -3.50%  | 18.15%              | 13.21%                                   |
| 1年  | -0.28%  | 33.13%              | 27.17%                                   |
| 3年  | -4.10%  | 55.21%              | 45.01%                                   |
| 設定来 | 464.18% | 376.06%             | 375.81%                                  |

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。TOPIX(東証株価指数)(配当込み)(以下、「配当込みTOPIX」という。)の指数値及び配当込みTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、配当込みTOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスの知的財産権及びその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社及びFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社及びFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性及び適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 0 円

| 決算期 | 2021年8月 | 2022年8月 | 2023年8月 |
|-----|---------|---------|---------|
| 分配金 | 0 円     | 0 円     | 0 円     |

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

### <本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 本資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 本資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 本資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。



## 中小型株式オープン(SMA専用)

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2009年1月14日

作成基準日 : 2024年5月31日

### 個別銘柄が基準価額の変動に与えた影響度(月間、概算)

| プラス要因銘柄                | 寄与額     | マイナス要因銘柄  | 寄与額     |
|------------------------|---------|-----------|---------|
| ジャパンエレベーターサービスホールディングス | + 217 円 | JTOWER    | - 402 円 |
| カプコン                   | + 116 円 | エクサウィザーズ  | - 187 円 |
| ネットワンシステムズ             | + 94 円  | イー・ギャランティ | - 183 円 |
| BuySell Technologies   | + 92 円  | ジャパンマテリアル | - 150 円 |
| アシックス                  | + 89 円  | 大真空       | - 142 円 |

### 資産の状況

※ 以下のページの数値はマザーファンドベースです。

#### 資産内容

|         |         |
|---------|---------|
| 株式      | 96.74%  |
| 株式先物取引  | 0.00%   |
| 短期金融資産等 | 3.26%   |
| 合計      | 100.00% |

※ 対純資産総額比です。

#### 組入上位10業種

|    | 業種     | 比率     |
|----|--------|--------|
| 1  | 情報・通信業 | 27.86% |
| 2  | サービス業  | 16.73% |
| 3  | 電気機器   | 7.55%  |
| 4  | 化学     | 6.00%  |
| 5  | 機械     | 5.02%  |
| 6  | 卸売業    | 4.82%  |
| 7  | 不動産業   | 4.79%  |
| 8  | 医薬品    | 4.40%  |
| 9  | その他製品  | 3.13%  |
| 10 | 陸運業    | 3.09%  |

※ 対純資産総額比です。

#### 市場別株式組入状況

|          | 銘柄数 | 比率     |
|----------|-----|--------|
| プライム市場   | 59  | 78.91% |
| スタンダード市場 | 4   | 4.33%  |
| グロース市場   | 10  | 13.33% |
| その他      | 1   | 0.18%  |
| 合計       | 74  | 96.74% |

※ 対純資産総額比です。

#### 組入上位10銘柄

|    | 銘柄                     | 業種     | 比率    |
|----|------------------------|--------|-------|
| 1  | トリケミカル研究所              | 化学     | 3.78% |
| 2  | ペプチドリーム                | 医薬品    | 3.35% |
| 3  | ジャパンエレベーターサービスホールディングス | サービス業  | 2.96% |
| 4  | AnyMind Group          | 情報・通信業 | 2.85% |
| 5  | SREホールディングス            | 不動産業   | 2.75% |
| 6  | 前田工織                   | その他製品  | 2.49% |
| 7  | 図研                     | 電気機器   | 2.47% |
| 8  | 東宝                     | 情報・通信業 | 2.29% |
| 9  | ニフコ                    | 化学     | 2.21% |
| 10 | Finatextホールディングス       | 情報・通信業 | 2.19% |

※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



## 中小型株式オープン(SMA専用)

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2009年1月14日

作成基準日 : 2024年5月31日



### ファンドマネージャーのコメント

#### 【市場動向】

国内株式市場は上昇しました。

前半は、政府や日銀による円買いの為替介入への警戒感が強まったことや米ハイテク関連株の値動きを受けるかたちで、一進一退の展開が続きました。

後半は、米CPI(消費者物価指数)や米小売売上高が市場予想を下回ったことなどにより、米長期金利が低下し、米国株式市場が最高値を更新したことを受けて、国内株式市場も上昇しました。

米エヌビディアの好業績により半導体株に買いが入り上昇しましたが、米PMI(購買担当者指数)が市場予想を上回ったため米国の早期利下げ期待は後退し、国内の長期金利が上昇したことで、月末にかけて国内株式市場は値動きの荒い展開となりました。

新興市場は東証スタンダード指数、東証グロース指数ともに下落しました。月前半は米国株式の上昇が好感されましたが、月半ばから後半にかけては国内の長期金利の上昇などが嫌気されました。東証グロース市場250指数は3カ月連続の下落で、心理的な節目として意識されていた600を一時的に下回りました。

#### 【運用実績】

アジアでマーケティング事業が拡大しているAnyMind Group、人型ロボットや人工衛星など新しい用途拡大に期待するハーモニック・ドライブ・システムズ、IPO(新規公開株)で成長性を評価して宇宙関連のアストロスケールホールディングスなどを購入しました。一方で、信越化学工業によるTOB(公開買い付け)発表でTOB価格にサヤ寄せして上昇した三益半導体工業、株価上昇で利益確定の観点から富士電機やペプチドリームなどを売却しました。

当ファンドの基準価額は前月末比で下落しました。成長株が軟調な推移となる中で、成長株を多く保有していることがマイナスに影響しました。決算で保守業務の安定成長やリニューアルの拡大が好感されたジャパンエレベーターサービスホールディングス、レポート販売の拡大により安定した利益成長が評価されたカプコンなどがプラスに寄与しました。一方で、決算で当期の業績予想が市場予想を下回ったことやテナンシーレシオ(物件当たり平均参画キャリア数)の向上が競争激化により懸念されたJTOWER、新興市場の株価下落の影響を受けたと考えるエクサウィザーズなどがマイナスに影響しました。

#### 【市場の見通し】

国内株式市場は年初から急上昇しましたが、今後は横ばい推移になると予想しています。2024年度の企業業績の会社計画が市場予想を下回っていることや国内の長期金利の上昇が嫌気されているためです。これまで円安進行や外国人投資家の購入により大型優位の展開が続いていましたが、株式市場が踊り場となる中で中小型株が選好される展開を期待しています。特に中小型成長株はこれまでの下落で割高感が後退しており、投資魅力が高まっていると考えています。

#### 【今後の運用方針】

当ファンドでは中長期的な視点から独自性の高い製品やサービスを提供することで新しいビジネスを創造・拡大していくことができる企業や、強いマネジメント力・競争力により高い市場シェアを持つ企業などの中で、比較的企業規模が小さく、中長期的に高い利益成長を見込むことのできる企業を選別し、これらの企業を中心に投資していくことに注力します。当ファンドでは中長期的な利益成長性の高い銘柄を厳選することで、高いパフォーマンスを追求します。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



## 中小型株式オープン(SMA専用)

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2009年1月14日

作成基準日 : 2024年5月31日



### ファンドの特色

1. わが国の中小型株式に投資し、ファミリーファンド方式で運用を行います。
2. 中長期的な視点で売上・利益の飛躍的な成長が期待できる企業を見極め、選別投資することで積極的な運用を行います。

### 投資リスク

#### 《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。従って、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様にご帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

#### 【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

#### 【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

#### 《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



## 中小型株式オープン(SMA専用)

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2009年1月14日

作成基準日 : 2024年5月31日

### お申込みメモ

購入単位 … 1円以上1円単位とします。

購入価額 … 購入申込受付日の基準価額とします。  
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)

購入の申込者  
の制限 … 販売会社と投資一任契約を締結されている投資者等に限るものとします。

換金単位 … 1口単位とします。

換金価額 … 換金申込受付日の基準価額とします。(信託財産留保額の控除はありません。)

換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。

申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。

換金制限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

購入・換金申込受付  
の中止及び取消し … 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。

信託期間 … 無期限(2009年1月14日設定)

繰上償還 … 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。

- ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合
- ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
- ・やむを得ない事情が発生した場合

決算日 … 毎年8月17日(休業日の場合は翌営業日)です。

収益分配 … 年1回、毎決算時に原則として収益分配を行う方針です。

課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。  
なお、配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

### ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

**ありません。**

■ 信託財産留保額

**ありません。**

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

運用管理費用(信託報酬)の総額は、以下の通りです。  
純資産総額に対して**年率1.155%(税抜1.05%)**を乗じて得た額

■ その他の費用・手数料

有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度、監査費用等を日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



## 中小型株式オープン(SMA専用)


追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2009年1月14日

作成基準日 : 2024年5月31日

### 委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号  
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 ホームページ : <https://www.smtam.jp/>  
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)



SMTAM投信関連情報サービス

お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。  
 ※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

### 販売会社

| 商号等          | 登録番号     | 加入協会             |                 |                 |                    |   |
|--------------|----------|------------------|-----------------|-----------------|--------------------|---|
|              |          | 日本証券業協会          | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |   |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第649号  | ○               | ○               | ○                  |   |
| アイザワ証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第3283号 | ○               | ○               |                    | ○ |

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。